

5月の活動



オリエントアイヌジー中島社長様より紫陽花（別名：おたくさ）を頂きました！毎年5月下旬には、出島表門橋公園で「OTAKUSAまつり+」が開催されます。

5月は、治療に通いながらも、講話活動、新たな企画の準備、ソシオSOEJIMAの理事会開催、そして2025年度の事業計画づくりと、目まぐるしくも前向きな日々を過ごしました。

先月から始まった抗がん剤治療は、幸いにも目立った副作用はなく、体調はおおむね安定。ただ、まとまった練習時間を取りるのは難しく、合間を見つけて自宅や事務所で地道にトレーニングを続けました。

4月に入院していた父も、ひとまず落ち着きを取り戻し、心身ともに少しホッとできたのも今月の大きな出来事のひとつです。

理事会では、来年度に向けた方針を理事メンバーと熱く語り合い、少しずつ形が見えてきたところ。新しい企画もいくつか動き始め、静かに、しかし確実に前進しています。

治療も、活動も、家族のことも。全部ひっくるめて「自分の今」として受け止めながら、今できることを一つずつ、丁寧に重ねていく。そんな5月でした。



治療に練習、講演、充実した日々



一般財団法人モーターボート競走会 講演会

2025年5月より、一般財団法人モーターボート競走会が実施する選手定期訓練にて、ボートレーサーの皆さんに向けた私の講話がスタートしました。

対象は、全国で活躍するモーターボート競技選手 約1600名。その全員が1年に一度必ず受講する2泊3日の定期訓練の中で、私は全16回、同じテーマで講話を担当させていただきます。各回約100名、毎回が真剣勝負です。

講話の時間は、なんと2日目の朝8:00～10:00（途中休憩あり）。眠たい目をこすりながらも、選手の皆さんは真剣に耳を傾けてくれます。私も眠気に負けないよう、声を張り、ジェスチャーを交えながら、楽しく・熱く・面白く伝える努力をしています。

話すテーマは、自身の障害と競技経験をベースにした『今、私にできること！』。勝負の世界に身を置く同じ競技者として、伝えられるリアルな体験を言葉にしています。

休憩時間になると、講話内容に興味を持ってくれた選手たちが私の元に集まり、実際に私の使っているレーザーやグローブに触れたり、ハンドルを握ってみたり。中にはレーサーへ乗ってみた選手も（笑）。競技を超えての交流が生まれています。私が若い頃は「競艇選手=ちょっと怖い人」という印象がありましたら、今の選手はみんなおしゃれで、爽やかで、かっこよくて、イメージが大きく変わりました。

全16回の講話、最後は2026年2月25日の予定。それまで、毎回毎回が真剣勝負です。選手たちに少しでもヒントや気づき、そして前向きな気持ちを持って帰ってもらえるよう、全力で伝え続けます！



朝8時からの講話



休憩時間にレーサーを触ったり、質問される選手の皆さん



展示してあったボート



水上での訓練の様子

育成選手の中村さんが全国障がい者スポーツ大会出場決定しました

5月末の東京都障害者スポーツ大会に出場し、全国障害者スポーツ大会への出場が決まりました。2年ぶりの出場ですが、2年前とは練習量やトレーニング量に差があるため本番までの4ヶ月間でトレーニングを重ね、満足のいく結果を出せるように練習をがんばりたいと思います。

また、学業面では1年次のうちに取らなければならないTOEFLスコアの基準まであと一歩というスコアを取得し、入学してからテストまでずっと勉強を重ねていたのでその成果が表れたかなと思います。前期中に基準を突破し、今よりも陸上の練習時間が確保できるように調整したいです。



学業とスポーツを頑張る中村さん

今後の活動予定

【イベント・講演活動】7月1日、8日、17日、23日 モーターボート競走会様にて講話

8月1日 夕食会in福岡 8月2日 清掃活動in大濠公園

8月9日 長崎市内で平和イベントに車いすレーサー体験などのブースを出展

【レース予定】

8月31日開催の北海道マラソン（車いす部門は、はまなすハーフマラソン）に副島選手が出場